

■成瀬仁蔵 教育家。日本女子大学の創立者。癌の診断に、教育理念“信念徹底”“自発創生”“共同奉仕”を書き遺した。

なるせじんぞう

五ヶ国条約・1858＝ 周防国吉敷郡吉敷村(山口市)で、吉敷毛利家に仕える下級藩士の長男に生まれる。3つ上に姉。

桜田門外変・1860＝ 2歳：

遣欧使節・・1861＝ 3歳：弟が誕生。

8月18日政変 1863＝ 5歳：吉敷郷校憲章館に入学。

薩摩藩士密航1865＝ 7歳：祖母に続いて、母が死去し、やがて継母を迎える。

大政奉還・・1867＝ 9歳：

明治維新・・1868＝10歳：名井守介に従い、漢学修業し始め、

廃藩置県・・1871＝13歳：竹下家の養子となった後も、

明治6年政変 1873＝15歳：この年まで続ける。

佐賀の乱・・1874＝16歳：山口県小郡の医師福田徳治方で調剤手となり、物理学を学ぶ。弟に続いて、父が死去。

初の民間工場1875＝17歳：山口県教員養成所に第二期生として入学、

三つの反乱・1876＝18歳：山口県教員養成所を卒業、同県室津小学校訓導となる。

西南戦争・・1877＝19歳：二島小学校訓導後、同郷の沢山保羅の感化で、キリスト教に傾倒し、郷里を出て、大阪浪花教会で受洗。

大久保暗殺・1878＝20歳：梅花女学校が開校し、同校教師となる。

琉球処分・・1879＝21歳：服部マスエと結婚。

明治14年政変1881＝23歳：「婦女子の職務」を出版。

新体詩抄・・1882＝24歳：梅花女学校を辞任し、キリスト教伝道に専念し始め、

岩倉具視没・1883＝25歳：大和郡山の伝道所に赴任。

秩父事件・・1884＝26歳：大和郡山教会の初代牧師に就任。同志社で(白木)麻生正蔵に会う。

内閣発足・・1885＝27歳：

帝国大学始・1886＝28歳：大和郡山教会の牧師を辞任して新潟へ赴任し、新潟第一基督教会初代牧師に就任。

国民之友始・1887＝29歳：沢山保羅が死去。新潟女学校を開校し、校長となるとともに、設立に参与した北越学館も開校。

初の対等条約1888＝30歳：牧師を辞任し、校長に専念。北越学館教頭に招かれた内村鑑三の強引さに、批判の先頭に立って辞職させ、

帝国憲法発布1889＝31歳：後任に麻生正蔵が北越学館に赴任。

帝国議会始・1890＝32歳：アメリカ留学を志し、新潟女学校校長を辞任。渡米し、

足尾鉋毒始・1891＝33歳：アンドバー神学校に入学。W・J・タッカー教授の知遇を得る。

大本教・・・1892＝34歳：クラーク大学に移って、女子教育を専攻し、各地の学校・諸施設を視察。

郡司千島探検1893＝35歳：「A Modern Paul in Japan」を出版して、

日清戦争始・1894＝36歳：帰国。梅花女学校校長となる。

日清戦争終・1895＝37歳：麻生正蔵の執筆協力を得て、*教育構想を「女子教育」にまとめ、

白馬会・・・1896＝38歳：「女子教育」を出版。梅花女学校校長を辞任して、女子大学設立運動に着手。

子規句歌革新1898＝40歳：妻マスエと離婚し、

ロシア国産化・1900＝42歳：マスエが死去。

田中正造直訴1901＝43歳：*日本女子大学校を開校。

精神教育を重んじ自治活動を奨励し生涯教育や大学拡張を主張し、

日比谷公園・1903＝45歳：同窓会{桜楓会}を組織し、{学報}を発刊、

日露戦争始・1904＝46歳：桜楓会{家庭週報}を発刊。専門学校の認可を受け、

日露戦争終・1905＝47歳：財団法人となる。

満鉄発足・・1906＝48歳：女子教育研究会{毎月会}を始め、軽井沢に三泉寮を開設。

韓国反日暴動1907＝49歳：「講演集」第一輯を出版。

アヲギ`創刊・1908＝50歳：桜楓会に{女子大学通信教育会}を設ける。

伊藤博文暗殺1909＝51歳：通信講義録「女子大学講義」発刊。

韓国併合・・1910＝52歳：女子高等教育普及のため、北越地方へ講演旅行。英文雑誌{LIFE(のちLIFE AND LIGHT)}発刊。

大逆事件判決1911＝53歳：創立十周年記念を期し関西方面に講演旅行。「進歩と教育」出版。

明治天皇没・1912＝54歳：婦一協会を組織。欧米を巡遊。思想の調和をめざす婦一協会の趣旨を問う傍ら、教育視察を行い、

大正政変・・1913＝55歳：帰国。教育調査会会員に任命され「大学教育改善案」を提出する。{婦一協会会報}発刊。

第一次大戦始1914＝56歳：「新時代の教育」出版。自助団を企画。

21ヶ条要求・1915＝57歳：勲五等瑞宝章。

民本主義・・1916＝58歳：詩聖タゴール来校し、軽井沢三泉寮で瞑想指導。「新婦人訓」出版。修養会{天心団}を組織。

ロシア革命・1917＝59歳：三泉寮で「軽井沢山上の生活」講演。臨時教育会議委員となる。腸チフスで入院、「世界統御の力」出版。

本格政党内閣1918＝60歳：快癒。帝国教育会功牌を受ける。「女子教育改善意見」を出版。*女子総合大学設立のため基金募集を企画するが、内臓の異常を自覚、

ベルサイ条約・1919＝61歳：*肝臓癌の診断を受けると、告別講演を行い、教育理念を“信念徹底”“自発創生”“共同奉仕”の三綱領として書き遺し、没した。